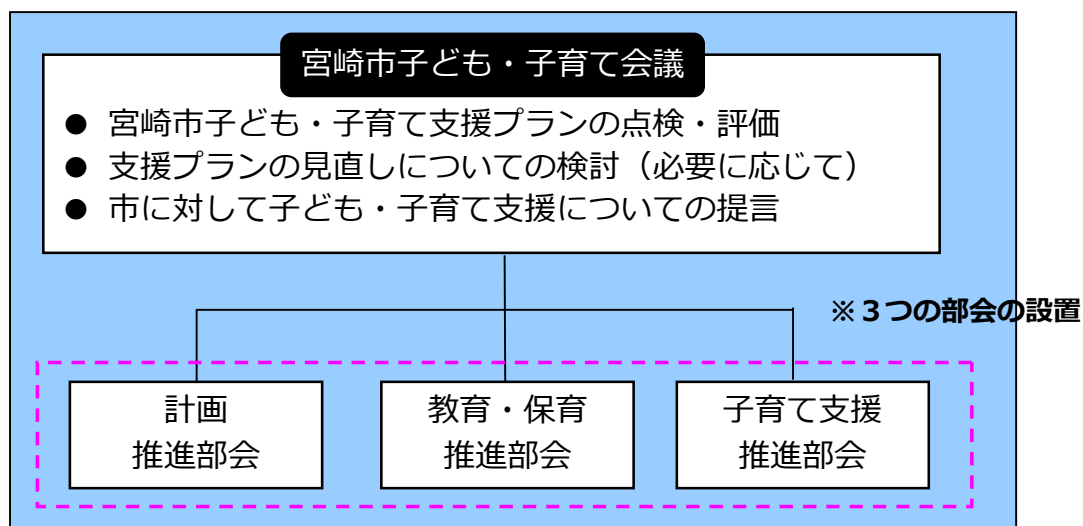


## 宮崎市子ども・子育て支援プランの点検及び評価について

### 1 点検及び評価について

平成 28 年度から宮崎市子ども・子育て支援プランの点検・評価を行うにあたり、特定の分野を専門的に審議するために、子ども・子育て会議に部会を設置する。



### 2 部会の種類と点検・評価の項目

#### (1) 計画推進部会

子ども・子育て支援プラン（次世代育成支援行動計画、母子保健計画）に関する検討を行う。主に、10の推進施策についての点検・評価を行う

##### 【点検・評価】

#### ① 10の推進施策の目標値（関係課照会）

##### ○ 目標値の達成状況について

中間目標値（平成 29 年度）と実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

#### ② 10の推進施策に関連する各種事業や取り組みの進捗状況（関係課照会）

##### ○ 各種事業や取り組みの進捗状況について

各種事業や取り組みに遅滞等がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

#### (2) 教育・保育推進部会

子ども・子育て支援プラン（子ども・子育て支援事業計画）における子ども・子育て支援給付に関する検討を行う。

##### 【点検・評価】

#### ① 本市における教育・保育の量の見込み及びその提供体制の確保方策

##### ○ 確保方策の進捗状況について

支援プランと実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

### (3) 子育て支援推進部会

子ども・子育て支援プラン（子ども・子育て支援事業計画）における地域子ども・子育て支援事業に関する検討を行う。

#### 【点検・評価】

- ①本市における地域子ども・子育て支援事業（11事業）に係る量の見込み及び提供体制の確保方策（関係課照会）
  - 確保方策の進捗状況について  
支援プランと実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策について整理すること

#### 【参考】点検及び評価に係る考え方

※内閣府の取扱い（平成27年3月19日子ども・子育て会議資料2より抜粋）

##### ○点検及び評価の内容（例）

- ・ 事業ごとの「確保方策」の進捗状況。計画と実績に乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策の検討
- ・ 計画の「量の見込み」と実際のニーズの乖離。乖離がある場合は、その理由の分析と今後の対応方策の検討
- ・ 質の向上の進捗状況（指標例：質の向上項目の実施状況）
- ・ 計画を実施するために必要な財源の確保状況等
- ・ 計画全体の成果（アウトカム）（指標例：子育て支援全般についての住民満足度）

##### ○点検及び評価の方法

###### ①地方版子ども・子育て会議の活用

地方版子ども・子育て会議には、事業計画策定の審議を行うとともに、継続的に点検・評価・見直しを行っていく役割が期待されている。

###### ②その他

適宜、利用者・事業者等に対するヒアリングやアンケート調査等を併用することも考えられる。

※宮崎市子ども・子育て支援プラン上の取扱い（支援プランP4より抜粋）

#### 4 計画の期間

支援プランの計画期間は、平成27年度を初年度とし、平成31年度までの5年間を一期として策定します。

また、計画期間の各年度において、施策の実施状況や事業実績等について点検・評価し、必要に応じて支援プランの見直しを行います。